

(添付資料1)

当機構の原子炉施設(ふげん、もんじゅ)への航空機落下確率の「実用発電用原子炉施設への航空機落下確率の評価基準について」に基づく評価結果

当機構のそれぞれの原子炉施設への航空機落下確率は、以下に示すとおり、 10^{-7} (回/炉・年)を超えていないため、「実用発電用原子炉施設への航空機落下確率の評価基準について」に定められた判断基準を満足しています。

施設名称	落下確率(回/炉・年)
新型転換炉ふげん発電所	約 4.3×10^{-8} (約2千3百万分の1)
高速増殖原型炉もんじゅ	約 5.8×10^{-8} (約1千7百万分の1)

: 判断基準である「 10^{-7} (回/炉・年)を超えない」とは、1つの原子炉施設あたり、1千万年に1回以下であるということである。

なお、この評価は、国の安全審査において原子炉施設の設計に航空機落下を考慮するか否かの判断をするために用いるものであり、安全側の評価を行っています。そのため、この評価結果が、実際に航空機が原子炉施設に落下する確率を表しているわけではありません。

以上